

小学校音楽

1 教育課程の改善のポイント

- 指導のねらいを一層明確にし、感じ取ったことを基に、思考・判断し表現する一連の学習過程を重視する。
- 我が国の音楽の指導を重視する。
- 音楽科の学習に即して、言葉の活用を重視する。

2 全面実施に向けて取組が求められること

(1) 移行期間における指導のポイント

- ア 歌唱共通教材は、1～4年は4曲すべてを、5～6年は4曲中3曲を取り扱います。
 - ・〔共通事項〕にしっかり目を向けて、曲に親しむだけでなく、曲想を生かして表現すること(思いや意図を膨らませること)ができるようにすることにより、ただ単に歌うだけの活動にならないう留意しましょう。
 - ・歌唱共通教材以外の歌唱教材の選択に当たっては、児童の興味・関心等の実態を十分配慮することにより、無理なく楽しく表現することができるようしましょう。
- イ 1・3・5年生は新学習指導要領に対応した年間指導計画で実施しましょう。
 - ・表現及び鑑賞の各題材を、「歌唱」、「器楽」、「音楽づくり」、「鑑賞」の各領域の指導事項と〔共通事項〕とで構成しましょう。
 - ・〔共通事項〕の指導に当たっては、そのみを単独に扱うのではなく、表現や鑑賞の実際の音楽活動としっかりとかわらせましょう。

(2) 適切な年間指導計画の作成と題材構成の工夫

- ア 次の観点から今年度の自校の年間指導計画を見直し、再構成しましょう。
 - ・特定の領域に偏ることなく、年間を通して、「歌唱」、「器楽」、「音楽づくり」、「鑑賞」の各領域の学習のバランスがとれているかどうかについて確認しましょう。特に、「音楽づくり」や「鑑賞」の指導が適切に行われるよう配慮しましょう。
 - ・各題材における指導の内容の重点化を図るとともに、題材相互の学習内容の関連や学年間の系統性に十分留意しましょう。
- イ 各題材の指導に〔共通事項〕を適切に位置付けましょう。【資料1】【資料2】
 - ・〔共通事項〕は、表現及び鑑賞のすべての学習の中で、共通に指導すべき内容です。各領域の指導事項と〔共通事項〕で示しているア、イとの関連を図って題材を構成することが必要になります。〔共通事項〕を指導計画に明確に位置付けることにより、各題材における指導内容の重点化を図ることができます。

- ・各活動においては、〔共通事項〕のアに示されている音楽を形づくっている要素や音楽の仕組みの中から、題材を指導する上で特に重要となるものを取り扱うことが大切です。
- ・表現と鑑賞との関連を図った題材を構成する際には、表現活動と鑑賞活動の両方に共通して重点的に指導する共通事項を精選して位置付けましょう。
- ・〔共通事項〕のイに示された音楽に関する用語や記号などは、児童の実態に即して、6年間を通じて音楽活動とかかわらせながら理解できるように指導しましょう。
- ・音楽的な感受の能力や表現を工夫する能力とは、表裏一体のものであり、互いに深くかかわり合っています。共通事項を学習の切り口として、音楽から感じ取ったものを表現活動に生かしていくことは、思考・判断し表現する一連の学習過程を大切にした音楽科の学習を実現する上で非常に意義のあることです。

ウ 「音楽づくり」の学習を積極的に取り入れましょう。

- ・〔共通事項〕に着目して「音楽づくり」に取り組むことは、音楽に対する感性を高める上で非常に大切なことです。「音楽づくり」の学習を年間指導計画に必ず位置付け、指導の充実を図りましょう。
- ・「音楽づくり」の学習では、生活の中にある音に耳を傾けたり、様々な音を探したり音をつくったりして音の面白さに気付かせる活動や、〔共通事項〕を手がかりにして、一つ一つの音を有機的なまとまりのある音楽へと構成する体験を大切にしながら児童が思いや意図をもって音楽をつくる活動を積極的に取り入れましょう。

エ 「鑑賞」の学習では、感じ取ったことを言葉で表す活動を取り入れましょう。【資料3】

- ・楽曲や演奏の楽しさに気付いたり、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いたり理解したりする能力を高められるよう、音楽にかかわる用語等を適切に用いながら、自分の感じ取ったことを言葉で表すなどの活動を行いましょう。

オ 児童が思いや意図をもって表現できるようにしましょう。

- ・「歌唱」や「器楽」の学習では、児童が、どのように歌ったり演奏したりしたいかという思いや意図を明確にもたせることが大切です。思いや意図が明確になることにより、児童の表現活動に対する取組も一層主体的になることが期待できます。
- ・児童の思いや意図を実際の音として表現するためには、表現の技能を身に付けさせることが必要になります。思いや意図を表現するための手段としての表現の技能の指導をしっかり行いましょう。

カ 我が国の音楽の指導を取り入れましょう。

- ・我が国の音楽の学習は、「鑑賞」では3・4年生から、「表現」では、5・6年生から行われ、中学校の学習へと引き継がれます。校区内の小・中学校で互いの指導計画について情報交換し合うなどの場を確保することにより系統的な指導が行えるようにしましょう。
- ・我が国の音楽の指導を行う際には、視聴覚機器などの有効活用を図りましょう。

キ 共につくり上げる喜びを実感させる指導を工夫しましょう。

- ・合唱や合奏など、児童が力を合わせて一つの音楽をつくり上げる活動を積極的に取り入れることにより、共につくり上げる喜びを実感できるようにしましょう。「歌唱」及び「器楽」の指導事項のエでは、共につくり上げる喜びを児童に十分に実感させるようにすることが大切です。

ク 指導のねらいに即して体を動かす活動を取り入れましょう。

- ・児童が音楽全体を感じ取るためには、体のあらゆる感覚を使って音楽をとらえていくことが必要です。音楽との一体感を味わい、想像力を働かせて音楽とかかわることができるよう、指導のねらいに即して体を動かす活動を取り入れましょう。

ケ 低学年の指導においては、生活科などとの関連を積極的に図るとともに、特に1年生では、幼稚園教育における「表現」に関する内容などとの関連を考慮しましょう。

- ・生活科などの他教科等の関連が図られるよう、関連する題材と音楽科の題材の学習時期を可能な範囲で合わせるなど、題材を設定する時期を工夫しましょう。
- ・幼稚園教育における「表現」の(6)「音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりなどする楽しさを味わう。」等との関連を意識して、指導計画を作成しましょう。

コ 学校の特色や児童の実態を踏まえた指導計画を作成しましょう。

- ・教科書会社から参考例として示されている指導計画をそのまま用いるのではなく、学校の特色や児童の実態等を踏まえるとともに、児童にどのような力を身に付けさせるのかを明確にして指導計画を作成しましょう。

サ 小中学校9年間を見通した系統的な指導計画を作成しましょう。

- ・義務教育の9年間の音楽学習で児童生徒にどのような資質・能力を身に付けさせるのかを明確にした上で、校区内の中学校との連携を密にしながら、系統的な指導計画を作成しましょう。

(3) その他

ア 新しく入ってきた内容を指導するための教材や教具等、教育環境を整備しましょう。

- ・表現や鑑賞の学習を効果的に行うために必要な楽器や資料等の整備に計画的に取り組ましましょう。

【参考資料】

○年間指導計画例(第5学年)【資料1】

○年間指導計画例(マトリックス表)(第5・6学年)【資料2】(埼玉県教育委員会作成)

○「鑑賞」の指導例(群馬大学教育学部附属小学校)

[小学校音楽科の目標] 表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。				[5 . 6 年の目標] (1) 創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。 (2) 基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにする。 (3) 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を高め、音楽を味わって聴くようにする。。				学習指導要領の内容（指導事項）													
								A 表 現							B 鑑賞		〔共通事項〕				
								歌 唱				器 楽			創 作						
月	◎題材・教材	時	題材の目標	題 材 の 評 価 規 準				ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ			
				1 音楽への関心・意欲・態度	2 音楽的な感受や表現の工夫	3 表現の技能	4 鑑賞の能力														
4	◎ふしの重なり合いを感じて歌おう ・いつでもあの海は ・やさしい風に ★こいのぼり	4	声が重なり合う響きを感じて、表情豊かに歌ったり演奏したりする。	・声や音が重なり合う美しい響きを感じながら、進んで表現しようとしている。	・旋律が重なり合う響きを感じ取って、美しく響き合う表現の仕方を工夫している。	・旋律の重なり方や拍子の特徴などを生かして、表情豊かに歌ったり楽器を演奏したりする技能を身に付けている。		○	○	○	○								(ア) 音色、音の重なりや和声の響き、 (イ) 音楽の縦と横の関係		
5	◎アジアの音楽に親しもう ・アジアの国々の音楽 ・アリラン／まつり花 ★子もり歌 ・おはやしづくり	7	旋律の特徴や響きの違いを感じ取りながら、アジアの音楽に親しむ。	・アジアの国々のいろいろな音楽に関心をもって、進んで聴いたり演奏したりしようとしている、	・旋律の特徴や歌詞から曲想を感じ取って、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫している。	・旋律の特徴を感じ取って歌ったり、お囃子をつくって演奏したりする技能を身に付けている。	・アジアの国々の音楽の違いを感じ取ったり、それぞれのよさを味わったりしながら聴いている。	○											(ア) 音色、リズム、旋律 (イ) 反復		
6	◎和音の変化を感じて表現しよう ・山のひつじかい ・静かにねむれ ・鑑 威風堂々第 1 番	6	和音の変化を感じ取りながら演奏する。 ・いろいろな楽器が重なり合う響きを感じながら曲を聴いたり、パートに合った楽器の組み合わせ方を工夫したりして合奏する。	・低音の響きや和音の響きに興味をもち、進んで合唱奏に取り組んでいる。 ・オーケストラによる楽器の響きに興味をもって聴こうとしたり、合奏したりしようとしている。	・音の重なり方と響きの関連など楽曲の構成を理解して表現に生かす工夫をしている。 ・曲想にあった楽器の組み合わせを工夫している。	・3 拍子の拍の流れに乗ってリーダーの演奏をしたり、低音のパートを演奏したりする技能を身に付けている。 ・和音の響きを感じ取りながら楽器を演奏する技能を身に付けている。	・和音の響きの変化や低音の響きを感じ取って聴くことができる。 ・オーケストラの豊かな響きを味わったり、自分たちの演奏と比べたりして聴くことができる。	○	○	○	○						○	○	○	(ア) 音色、音の重なりや和声の響き (イ) 問いと答え	
7																				どの題材の学習においても〔共通事項〕を位置付けます。	
9	◎いろいろな響きを味わおう ・鑑 美しきロスマリン ・鑑 白鳥 ・わたり鳥と少年	4	・いろいろな演奏形態による合唱の響きの美しさを味わって聴く。 ・バイオリンやチェロの音色を味わったり、旋律と伴奏の響きの美しさを味わったりして聴く。 ・主題が変奏していく様子や主となる楽器の音色に気付きながら聴く。	・独唱・重唱・合唱などいろいろな演奏形態による音楽に関心をもって聴こうとしている。 ・弦楽器の音色の響きの美しさを味わって聴こうとしている。 ・主題が変奏していく様子に興味をもって聴こうとしている。	・独唱・重唱・合唱などいろいろな演奏形態による音楽の美しさを感じ取っている。 ・様々な合唱形態の構成に気付き、演奏に生かす工夫をしている。	・響きを感じながら曲想を生かして演奏する技能を身に付けている。	・いろいろな合唱形態の歌声や響きの違いや特徴を感じ取って聴くことができる。 ・変奏していく主題の曲想の違いや音色の感じについて聞き比べることができる。 ・音色の違う様々な楽器の響きの美しさを感じ取って聴くことができる。		○	○	○							○	○	○	(ア) 音色、強弱、拍の流れやフレーズ (イ) 変化
10	◎曲の特徴を感じて歌おう ・秋にさよなら ・気球よぼくらの夢のせて ・ありがとうさよなら	5	楽曲の特徴を生かして、豊穠豊かに歌う。	・イ短調の感じに興味をもって歌おうとしている。 ・8 分の 6 拍子に関心をもって特徴を生かして歌おうとしている。	・楽曲の特徴を生かした歌い方の工夫をしている。	・楽曲の旋律、拍子、速さなどに気を付けながら歌う技能を身に付けている。		○	○	○	○									(ア) 旋律、音階や調 (イ) 音楽の縦と横の関係	
11	◎物語のイメージに合った音楽を表現しよう ・鑑 組曲「パールギュント」 ・走れメロス	8	場面の様子や曲の特徴をもとに、イメージを表現しよう。	・自分のつくりたい音楽づくりとイメージをかわり積極的に音楽をつくらせて表現することができる。	・音楽のイメージをふくらませ、今までの音楽経験を生かした音楽づくりの仕方を工夫している。	・自由な発想を生かして、音楽をつくっている。										○	○			(ア) 音色、旋律、強弱 (イ) 問いと答え	
12																					
1	◎曲の気分を感じ取って歌おう ★冬げしき ・星の世界 ★スキーの歌	6	歌詞の内容を読み取り、情景を思い浮かべて、表情豊かに歌う工夫をする。	・歌詞から情景を思い浮かべながら歌おうとしている。	・言葉の意味や内容を理解してそれらを生かした歌唱表現を工夫している。	・楽曲の旋律、強弱の変化、速度に気を付けながら表情豊かに歌う技能を身に付けている。		○	○	○	○									(ア) リズム、拍の流れやフレーズ	
2																					
	◎日本のふしの感じを味わおう ・子もり歌 ・鑑 江差追分・八木節・谷茶前 ・おはやしをつくらう ・祭りばやし	4	・日本の音楽の旋律の感じを味わいながら歌ったり、陽旋法と陰旋法を歌い比べたりする。 ・地域に伝承されている音楽を学び、学習に活用する。 ・日本の音楽の旋律や太鼓のリズムをつくって演奏する。	・陽旋法と陰旋法の違いに興味をもち、気持ちをこめて歌おうとしている。 ・いろいろな地方の民謡に興味をもって聴こうとしている。 ・お囃子をつくる学習に興味をもって、太鼓のリズムや旋律をつくって表現しようとしている。	・陰陽の旋律の違いに合った歌い方を工夫している。 ・お囃子の雰囲気合った節やリズムを工夫してつくっている。	・歌詞の内容にふさわしい歌い方をしている。 ・お囃子の雰囲気をもってリズムやまとまりのある旋律をつくって演奏している。	・日本に古くから伝わる旋律である陽旋法、陰旋法の違いを聴き取ることができる。 ・好きな民謡の主な旋律を口ずさんだり、体を動かしたりしながら曲想を味わって聴く。					○	○	○	○	○	○	○	○	(ア) 音色、リズム、速度、音階と調 (イ) 反復	
3	◎ふしの特徴を生かして合奏しよう ・生命のいぶき	2	交互に演奏される楽器の音色を感じたり、各パートの特徴を生かしたりして、演奏を工夫する。	・グループで協力しながら合奏やアンサンブルを楽しんでいる。	・各パートの特徴に合った楽器を選び、表現の仕方を工夫している。	・各パートの音量のバランス、速度、強弱に気を付けて演奏する技能を身に付けている。	・合奏しているときに自分の楽器とともに第の楽器の音のバランスを考えながら聴いている。					○	○	○	○					(ア) 旋律、音の重なりや和声の響き (イ) 問いと答え	
	◎明るく響きのある声で歌おう ・明日に向かって ・大空よ あなたののもとに ・卒業式の歌	4	曲想を生かした表現を工夫して歌う。	・自然できれいな声にあこがれをもち、進んで明るい声で歌おうとしている。	・言葉の意味や歌詞の内容に合った歌い方の工夫をしている。	・呼吸や発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	・友達の歌声のよさを聴き取っている。	○	○	○	○							○	○	○	(ア) 音色、強弱、音の重なりや和声の響き、拍の流れやフレーズ

歌唱・器楽・創作・鑑賞の各分野の学習がバランスよく行われるようにしましょう。

歌唱共通教材は 4 曲中 3 曲は位置付けましょう。

どの題材の学習においても〔共通事項〕を位置付けます。

我が国の音楽の学習を位置付けましょう

【資料2】

年間指導計画例

マトリックス表〔高学年の2学年間にわたる内容の扱いを示した例〕

【第5学年及び第6学年の目標】			A 表現												B 鑑賞			備 考	
			(1)歌唱				(2)器楽				(3)音楽づくり							題材の特徴	
			ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ア	イ	ウ	言語活動○ 道徳教育☆			
			歌声を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽語を交代して歌うこと				曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって演奏すること				楽器の特徴を生かして旋律・和音及び打楽器を演奏すること				音楽を聴いて想像したことや感じ取ったことを意識で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解すること				〔共通事項〕例
学年	題材名 (時)	○教材名																	
第5学年 (50時間)	みんなで楽しく歌おう (6)	○ゆかいに歩けば	●	○	○												旋律 拍の流れ フレーズ	重なりあう旋律の響き ☆	
		● このほり	●																
		○ピリ・ブ	○	○	○	○													
	いろいろなひびきを味わおう (5)	● 美しきロスマリン・白鳥											○	○	○	音の重なり 和声の響き 音階や調	楽器の音色 響きの特徴 長調と短調の感じの違い		
		○わたり鳥と少年			○		○				○								
1学期	アジアの音楽に親しもう (6)	● アジアの国々の音楽												○		●	旋律 リズム 反音階の幅と調の関係	旋律の特徴や響きの違い 音楽づくり …	
		○アリラン・まつりか	○											○					
		○おはやしづくり									○		○						
2学期	体でアンサンブルをつくろう (5)	● ロックトラップ												○			リズム 強弱 速度 反復	表現と鑑賞を生かして 音楽づくり	
		○アンサンブルづくり									○		○						
		● アイネクライネナハトムジーク												○	○	○	音階や調 変化 拍の流れ	曲の気分 長調と短調の感じの違い	
	日本の歌曲 言葉の美しさを味わおう (5)	● 浜辺の歌・待ちぼうけ・他	○							○	○	○				○	リズム 速度	鑑賞と表現を生かした歌詞と旋律の関わり	
		● スキーの歌																	
3学期	低音部や和音の演奏に慣れ、合奏しよう (6)	○静かにむね	○												○	○	音の重なり や和声の響き	鑑賞と表現を生かした和音の響き	
		● 威風堂々 第1番													○	○	○		
	リコーダーでアンサンブル (4)	○タぐれ								○		○					フレーズ	声楽・合奏	
		○失われた歌								○	○	○							
	感謝を表そう 卒業式 (5)	○校歌			○												旋律	歌詞に合った曲想の工夫 ☆	
第6学年 (50時間)	みんなで楽しく歌おう合わせよう (5)	○つばきをください		○	○	○											音の重なり や和声の響き	声や音の重なり合う響き ☆	
		● おぼろ月夜			○	○													
		○歌に願いを			○		○												
	いろいろなひびきを味わおう (5)	● 茶色のこびん他												○	○	○	音色	音色や響きの特徴 ☆	
		○星空はいつも			○		○		○										
○ラバースコンチェルト									○			○							
重なり合う音の美しさを味わおう (5)	○勇気一つを友にして			○		○		○								音の重なり や和声の響き	記号と表現を生かした重なり合う響きや声の機能 ☆		
	● 赤とんぼ・箱根八里												○	○					
	● ふるさと			○		○													
2学期	様々な情景を表す音楽をつくろう (5)	● ダフニスとクロエから 夜明け												○		○	速度 強弱 反復 間いと答え 静寂・強弱	表現と鑑賞を生かして 音楽づくり	
		○海の音楽をつくろう							○			○	○						
	音楽会を成功させよう (5)	○風を切って						○	○	○	○				○		曲想の変化 表現の工夫 音階の幅と調の関係	曲想の変化 表現の工夫 (7セント)	
		● 世界の国々の音楽												○	○		音色 間いと答え 変化	世界・日本の音楽に興味・関心 ☆	
	日本の音楽を味わおう (7)	○こげよマイケル				○	○												
3学期	リコーダーの音色の美しさを味わおう (4)	● 春の海												○			音色 変化	日本の楽器の響きや旋律の特徴	
		● 越天楽今様	○					○							○				
	曲のイメージを生かして合奏しよう (5)	● メヌエット												○	○		拍の流れ フレーズ	重奏・合奏 (反四拍子)	
		○メヌエット(クレーガー作曲)							○		○								
	感謝を表そう 卒業式 (4)	● 管弦楽組曲「惑星」から木星													○		強弱 音階の幅と調の関係	鑑賞と表現を生かした表現の工夫 ☆	
3学期	感謝を表そう 卒業式 (4)	○木星						○	○	○	○						変化 旋律	歌詞に合った曲想の工夫 ☆	
		○旅立ちの日に	○	○	○	○													
		○校歌			○														
			※ 国歌「君が代」																

⑩は共通教材

⑪は鑑賞教材

※ 国歌「君が代」は年間を通して適宜指導していく

【資料 3】

小学校音楽科【鑑賞】指導例

I 実施学年 第 5 学年

II 題 材 旋律の重なりと和音の響きの美しさ【鑑賞】 教 材 威風堂々 第 1 番 エルガー作曲

III 指導上の留意点

1 第 1 時で、「威風堂々 第 1 番」のゆったりとした部分を初めて聴く際には、曲名を伏せて提示することで、曲の表す情景や雰囲気自由に思い浮かべられるようにする。また、思い浮かべた情景や雰囲気を発表する際には、その根拠を問いかけ、音楽を形づくっている要素に着目できるようにする。そして、「威風堂々 第 1 番」のゆったりとした部分を繰り返し聴く際には、管弦楽が演奏している映像を鑑賞する場や主旋律や副次的な旋律の楽譜を見ながら聴く場、和音を簡単に楽器で演奏する場を設定して、音の重なりや和音の響きを感じ取れるようにする。さらに、感じ取ったことを発表する際には、要素のよさやその働きを問いかけ、音の重なりや和音の響きのよさを共有できるようにする。

2 第 2 時で、鑑賞曲を通して聴く際には、前時に感じ取った音の重なりや和音の響きのよさに着目しながら聴くよう促し、鑑賞曲のよさや美しさを味わえるようにする。また、歯切れのよい部分とゆったりとした部分との違いを問いかけて、曲想とその変化などの特徴に気付けるようにする。管弦楽の表す響きの美しさを味わう際には、ゆったりとした部分をピアノで演奏している曲と管弦楽で演奏している曲を提示して、様々な楽器の音色が重なる響きのよさを感じ取れるようにする。また、音が重なり合う響きの美しさや和音の響きのよさを聴くことができている子供の感想を紹介して、管弦楽の表す響きのよさを全体で味わえるようにする。鑑賞曲により親しむ際には、ゆったりとした部分を簡単に合奏する時間を設定して、音が重なり合う響きの美しさや和音の響きのよさを実感できるようにする。

IV 目標及び評価規準

1 目 標

音の重なりや和音の響きを感じ取りながら、管弦楽の響きの美しさやよさを味わって聴く。

2 評価規準

- (1) 音の重なりや和音の響きの美しさに関心をもって聴いている。
- (2) 音の重なりや和音の響きの美しさを感じ取っている。
- (4) 管弦楽の音が重なり合う響きの美しさや和音の響きのよさを味わって聴いている。

V 学習計画（全 2 時間予定）

過 程	学 習 活 動	時間
主題把握	○音の重なりや和音の響きを感じ取りながら、「威風堂々 第 1 番」のゆったりとした部分を聴く。 (本時)	1
主題追求	○曲想とその変化などの特徴を感じ取ったり、管弦楽の表す響きの美しさを味わったりしながら、「威風堂々 第 1 番」を通して聴く。	1
主題達成		

VI 本時の学習

1 ねらい 「威風堂々 第1番」のゆったりとした部分を鑑賞し、気付いたことを発表し合うことを通して、音の重なりや和音の響きを感じ取る。

2 準備 CD DVD 学習プリント フラッシュカード

3 展開 (みとりのポイント：□は「おおむね満足できる」状況、◎は「十分満足できる」状況にある子供の姿)

学習活動と子供の意識	指導上の留意点 (☆：研究上の手立て)	時間
1 学習主題をつかむ。 ・ ゆっくりと歩いているような感じがする曲だな。 ・ 堂々とした感じがするな。 ・ なぜ、堂々とした感じがするのだろう。	○「威風堂々 第1番」のゆったりとした部分を初めて聴く際には、曲名を伏せて提示することで、曲の表す情景や雰囲気自由に思い浮かべられるようにする。 ○子供たちの発表を基に、学習主題を設定することで、鑑賞曲への関心を高められるようにする。	10分
2 「威風堂々 第1番」のゆったりとした部分を聴いて、気付いたことを発表し合う。 ・ この曲は、たくさんの楽器で演奏されているのだな。 ・ 主旋律の他にも、たくさんの音があるな。 ・ 曲の中に和音が入っているのかな。 ・ 音が重なって、和音の響きになっているのだな。 ・ 音が重なり合うと、音の厚みが出るな。 ・ 主旋律と和音が重なるから、堂々とした感じがするのだな。	☆管弦楽が演奏している映像を鑑賞する場や主旋律や副旋律の楽譜を見ながら聴く場、和音を簡単に演奏する場を設定して、音の重なりや和音の響きを感じ取れるようにする。 みとりのポイント □音の重なりや和音の響きを感じ取り、「音が重なると、音が広がる感じがするな。」などと記述している。 ◎音の重なりや和音の響きとそのよさを感じ取り、「いろいろな音が重なるから堂々としたような感じがするのだな。」などと記述している。 ○みとりのポイントの姿が現れない子供には、旋律の楽譜を提示したり、主旋律と副次的な旋律とのかかわり合いを問いかけたりして、音楽を形づくっている要素に目を向けられるようにする。	25分
3 本時の活動を振り返る。 ・ 音の重なりに注目して聴いたら、堂々とした感じがするわけがわかったよ。	○音の重なりや和音の響きのよさを感じ取れたことを賞賛したり、鑑賞曲全体を紹介したりして、次時への意欲を持続できるようにする。	10分

※太字は「学びの充実感・有用感」をもった子供の意識